

## cDNA ライブラリー, ヒト; HeLa 細胞

02-723

500 ng

本製品は、HeLa細胞由来のpoly(A)<sup>+</sup> RNAからリンカープライマー法（文献1～3）により大阪大学微生物病研究所の野島博教授が作製したプラスミド型cDNAライブラリーです。制限酵素 *Not I* 認識部位を有するoligo(dT)18 リンカープライマーと *Bam H I* (*Bgl II*)-*Sma I* アダプターを用いて、インサートは一方向にクローニングされています。

cDNAライブラリーに使用しているベクター *pAP3neo* は、SV40 プロモーターを有し、哺乳動物細胞で発現可能です。ssDNA合成に必要な *f1* フェージのOri, RNA合成に必要なT7 およびT3 フェージのプロモーターを含んでいます（図）。GenBank No. [AB003468](#)

### 用途

既知の遺伝子(cDNA)のプライマーを作成して、PCR 法によってライブラリーから目的遺伝子を増幅し、適当なベクターにクローニングして、タンパク質の多量生産、プローブなどの作成に利用する。（標準条件； 10～100 ng の cDNA をテンプレートに用いて PCR で 35 サイクル増幅する。対象とする mRNA の発現量に応じてテンプレート量やサイクル数を加減する。）

### 製品

容量：500 ng (40 ng/ul, 13 ul) in 10 mM Tris-HCl-1mM EDTA (pH 7.5)

品質：ライブラリーサイズ；～560 万個の独立コロニー。インサートの長さは平均 1 kb 以上。

保存：-20℃

### 文献

- 1) Kobori M, Ikeda Y, Nara H, Kumegawa M, Nojima H and Kawashima H “Large scale isolation of osteoclast-specific genes by an improved method involving the preparation of a subtracted cDNA library.” *Genes Cells* **3**, 459-475 (1998) PMID: [9753427](#)
- 2) 野島 博：バイオマニュアルシリーズ 2、遺伝子ライブラリーの作製法（野島博編）、p.79-94 羊土社、東京、1994.
- 3) 野島 博：「日本生化学会編 基礎生化学実験法 第4巻 核酸・遺伝子実験II. 応用編」第2章 ライブラリーの作製とクローニング」東京化学同人(2001) P31~P63
- 4) Sambrook, J. & Russell, DW. *Molecular Cloning* Chapter 11 “Preparation of cDNA libraries and gene identification.” CSHL Press (2001)

- \* 本ライブラリーは購入者が自分の研究のみに使用できます。増幅して第三者に分与することは禁止されています。
- \* 関連商品；各種ヒト組織特異的及びモデル生物の cDNAライブラリー（[HP](#)参照）
- \* 各種ライブラリーよりcDNAのクローニング、タンパク質の発現系の構築、タンパク質の生産・精製などの受託も承ります。[info@bioacademia.co.jp](mailto:info@bioacademia.co.jp)にお問い合わせください。

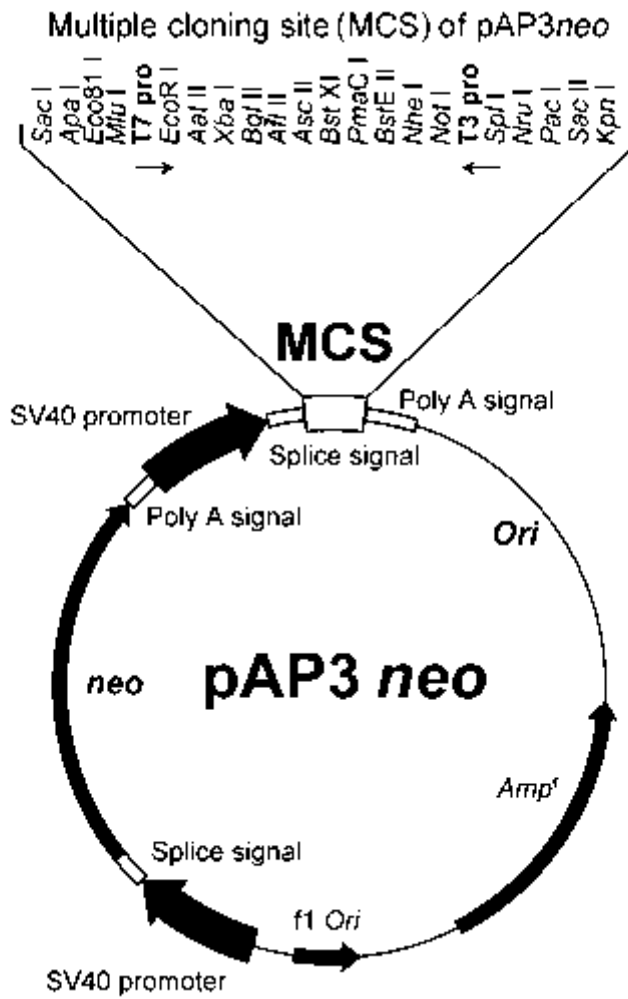


図 pAP3neo の構造および制限酵素地図